東京女子医科大学附属八千代医療センター
開院 20 周年記念事業に対するご支援とご協力のお願い

謹啓

平素より関係各位におかれましては、当院の運営ならびに診療活動に対し、多大なるご理解とご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

八千代医療センターは、本学の理念である「至誠と愛」の心をもち、患者さんに接することを基本理念として、平成 18 年 12 月に開院いたしました。以来 20 年間にわたり、大学附属病院としての高度な医療の実践と、地域医療への最大限の貢献を目指し、一歩一歩歩みを進めてまいりました。

現在、千葉県東葛南部地域（二次医療圏）における中核病院として、救急医療、小児・周産期医療等に注力しております。2016 年の新棟（第 2 病棟）建設を経て、現在は許可病床 500 床の規模となり、総合周産期母子医療センター、救命救急センターおよび小児救命救急センターの機能を有し、新生児から成人までの三次救急が対応可能な高度急性期医療を展開しております。

一方、開院から 20 年という節目を迎え、当院を取り巻く環境には課題も山積しております。建物の老朽化への対策や、医療技術の進歩に伴う最新の医療機器への更新、さらにはエネルギー効率向上を目的とした設備改修など、ハード面における基盤整備が急務となっております。大学附属病院として、常に「最善の医療」を安全な環境で提供し続けるためには、これらの刷新が必要不可欠な状況にあります。

そこで、八千代医療センターは開院 20 周年記念事業として、より一層患者さん一人ひとりに対して質の高い医療を提供できるよう環境整備を推し進めてまいりたいと考えております。何卒、本事業の趣旨にご賛同いただき、皆様からの温かいご支援を賜りたく存じます。

頂戴いたしましたご寄付は、次世代へ繋ぐ施設整備や高度医療機器の導入に大切に活用させていただきます。皆様のご期待に沿えるよう、職員一同一丸となって、地域医療への貢献に尽力してまいる所存です。

皆様方には、何卒本趣旨をご理解のうえ、格別のご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

謹白

学校法人東京女子医科大学
理事長　清水　治



東京女子医科大学八千代医療センター
病院長　片桐　聡



～～～